

## インターバンクの声（2017年7月5日）

昨日の東京市場は、米国の独立記念日のためニューヨーク市場が休場になることから、ロンドン市場もほとんど動かないとの想定で一日が始まった。こうした日には、「何もしない」のが最善策のひとつで、ディーラーの多くは、半ば英気を養いながら普段出来ない仕事をする決めて込んでいた。しかし、仲値時刻を狙ったわけでもないだろうが、北朝鮮のミサイル発射報道で相場が動き出してしまった。

もともと東京勢は北朝鮮のミサイル発射報道には免疫ができてしまっているのか、この時わずかに反応したものの、円買いは113円10銭台で留まった。さすがにこれで相場も静かになるかと思われたが、昼過ぎには北朝鮮が東京時間の午後3時半に重大発表を行うとの報道が入った。

当然良い発表ではないとの思いに円が買われ、発表時刻には112円70銭台まで円買いが進んだ。ただ、重大発表は大陸間弾道ミサイルが成功したとの北朝鮮の自画自賛で、円相場も徐々に113円台前半まで円が売り戻された。この北朝鮮のミサイル関連ニュースさえ無ければ平穏な一日だったはずだが、とにかく頭を切り替えて米国の雇用指標の発表に備えたい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。